

# ふる里からの 「ふくろうだより」 4月号

今年の指針  
“輝”

令和2年4月6日発行

あかるく やむらく やましく  
社会福祉法人 聖明会  
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 旭岡町 1-4-10 留地

TEL (0957) 27-4500

FAX (0957) 27-4501

HP検索: [デイサービスセンターふる里](#)

## “祈！開催”2020東京オリンピック！

世界中に蔓延しているコロナウィルス、社会も経済も大変な状況です。皆様方も『この先、収束するのだろうか？どんなになるんだろう！？』と心配されておられることでしょう。ふる里の営業も心配です。家族の皆様が何とか通えますようにと、願われている思いが伝わって来ていて、少しでも回避しようと、手すりや器具の消毒、うがい手洗いの励行、職員自身の体温、バイタルチェックでの自己管理も密に行っています。利用者様のご家庭にも、検温の実施や、その日の体調を知らせていただき、連携も十分とっています。

さて、今年7月24日から、東京オリンピックの開催。実施か否かの問題もありますが、3月12日(木)古代オリンピック発祥の地ギリシャ・オリンピア市のヘラ神殿跡で採火され、19日にギリシャで引継式、20日にオリンピック金メダリストの吉田沙保里さん、野村忠宏さんの手によって、聖火皿に灯されました。予定では、ここから全国を回る聖火リレーとなります。聖火リレーが実施されれば長崎県は、20県目です。先日のニュースで東京出身の“石原さとみ”さんが、長崎県のランナーとして5月8日に聖火リレーをすると報道されました。

石原さんと長崎県の接点は、“原爆”です。東京出身の石原さんが「長崎を走りたい」と強く思ったきっかけは、被爆者本多シズ子さん(86)との出会いでした。12年前の2008年、石原さんはドキュメンタリー番組の撮影で本多さんの元を訪れました。2015年に石原さんがプライベートで原爆ホームを訪れ、2人は7年ぶりの再会を果たしました。「被爆者の本多シズ子さんと、私が10代の頃にお会いして、戦争の体験とかたくさん聞いたんですね。『自分には何が出来るんだろう』とすごく考えてしまいました。数年後本多さんに長崎までプライベートで会いに行っただけです。その当時撮った写真、色紙、お手紙とかを『宝物なんだ』って…『生きていてよかった』って言われて…」本多さんは原爆投下の当時をこう綴っています。「草履の鼻緒作りをして遊んでいた時、一瞬、あたりがピカッと光ったかと思うと同時に、私の身体はガラスを割り、外へ放り出されていたのです」…「私は父と母を知らずに、そして生まれつき右足が短く、身障児として育ちました」…「かあちゃん、かあちゃん うちば うちば 置いてどこにいったとね」… 本多さんは、2000年ごろから子供や修学旅行生の前で「被爆劇」を自ら演じてこられました。石原さんは、東京都生まれなんですけど「一番の転機の場合はどこですか？」と聞かれたら「長崎県です！」と、応えられました。生き方に迷っていた頃、本多シズ子さんや、原爆との出会いで、「わたしは、誰かの心を少しでも明るくできるような、励ませるような人になりたいって、その時決心したんです。今回は、長崎県への恩返しの意味で聖火ランナーに応募しました。」と、おっしゃっておられました。

From センター長 森 隆敏

# 紅白歌合戦

3月行事は、『紅白歌合戦』を3日(火)、4日(水)、5日(木)の三日間で行いました。4年ぶりとなる紅白の行事に今まで経験したことがある職員も、今回初めて参加した職員もドキドキ、ワクワクの気持ちで行いました。一日、四回戦行いカラオケの得点、利用者皆さんが良かったと思われるチームの札の数で、競いました。結果、最終得点の多かったチームが勝ち、というルールで勝負をしました。お客様、利用者さん、職員と見ている皆が、よく笑い、感動し涙を流されたり、応援したり、次は何かとワクワクされたりと、沢山の表情を見る事が出来て良かったです。準備期間が短かったのですが、皆さんを喜ばせる事が出来、自分たちも楽しむ行事にできたのは職員皆の力の団結だと改めて感じました。「湖畔の宿ふる里」が出来て、今後は職員全員と利用者さんが、一緒に集まれる行事が少なくなる中、全員参加する事が出来て、本当に嬉しかったです。







## ♪行事食とおやつ♪

行事食は、味付けも彩りも良く、ボリュームがあり、とても豪華でした。普段の昼食も皆さん楽しみにされているのですが、行事の昼食は、「普段以上に楽しみがある。」という声などもありました。確かに職員も行事食は楽しみで、皆さんと楽しくいただきました。おやつは、初日は“ひなあられ”があり、「懐かしい。」と、とても喜ばれていました。



行事担当 原 始来 末永 直己

# ふる里ハッピーバースデー

3月1日に、ふる里は21年目を迎えることが出来ました。一年一年と年数を重ねるごとに、ふる里を利用し、愛して下さる皆様に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。翌日の2日(月)には、厨房職員が手作りしてくれたバースデーケーキを、利用者の皆さんとおやつの時間に頂きました。フルーツ沢山、見た目も可愛く、各テーブル見せて回ると皆さんとても喜ばれていました。食べるのがもったいない気持ちでしたが、甘くて美味しいバースデーケーキに全員で喜び、楽しくいただきました。



## 高齢者自立支援センター ふる里

【高齢者自立支援センターふる里】とは…

介護認定を受けておられない方(総合事業対象者)と要支援1及び2の方を対象とした新事業の高齢者活動支援サービス事業(A型)を平成29年4月から始めました。名称は「高齢者自立支援センターふる里」といいます。

生涯、健康で安全・安心な自立した生活が送れるように支援していくことを目的とし、専門的な職員(自立支援プランナー)がサポートいたします。ご興味のある方は、いつでもどうぞ。ご連絡をお待ちしております。

3月の行事予定

◆ふる里4月行事 『お花見ドライブ』  
31日(火)・1日(水)・2日(木)

◆生花教室 ~齊藤マサミ先生~ 4日(土)・20日(月)

◆書道教室 ~中村 朱実 先生~ 16日(木)・27日(月)

◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 21日(火)

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ~中村壽美子先生~ 28日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後  
(8日、15日、22日、29日予定)



今月の作品



湖畔の宿の工事も着々と進んでいる状況で、3月には建物に看板も付きました♪外観も綺麗に見ることが出来るようになり、私たち職員も完成がとても楽しみです。送迎の時には、利用者さんも湖畔の宿を見ておられ、皆さんも完成を楽しみにされているようです。晴れている日には葛木の堤に湖畔の宿が、写ったりもして高級感あふれる感じがします。今は、工事の方が夜遅くまで作業をされていて、その時は、ライトアップされている建物が湖に映りとても綺麗なため、お時間がありましたら是非一度、見に来ていただけたら嬉しいです。

編集後記 末永直己